



新校舎ワークショップ

学習センターの新校舎建設が始まっています。新校舎は敷地にもともと建っていた築100年の民家を受け継ぎます。築100年の民家の柱や梁という構造材を再利用するためには、木材を「手入れする」工程が必要です。



10月26日のワークショップでは、木材のホコリや泥を落として、再利用できる状態に手入れをしました。建設の現場監督である齋藤さんのご指導の下、1・2年生合わせて16名が木材を磨きました。



薄汚れくすんだ木材…

前



後



ツルツル輝いた木材に

薄汚れてくすんでいる木材をブラシと雑巾を使って丁寧に磨いていくと輝いた木面が浮かび上がります。見違えるようにきれいになっていく様子に、みんな熱中して作業に取り組む姿が見られました。きれいに磨いた後、工具を用いて研磨体験をしました。実物の工具を恐る恐る使ってみる生徒。小刻みな振動に驚いたり、研磨後のすべすべした木の感触に歓声を上げたりしていました。笑いあいながら汗をかいていると、全員が清々しい表情に。新しい建物への愛着が持てたのではないのでしょうか。



最後は、古民家を改修した「村上家」で、海士町の副町長である澤田さんから「古いものを受け継ぐこと」についてお話を伺いました。滅多にない機会に生徒は真剣に話を聞いて、歴史の大切さを学んだ様子が見られます。次回は、木材の修繕が完了する12月初旬に柿塗塗装をします。詳細は追って連絡します。お楽しみに！

(文責:永田)



New! スタッフ紹介

佐藤 桃子

9月までベネッセで「こどもちゃれんじ」という幼児向け教材の編集をしていました。知育や自然科学に関する映像や絵本などをつくるために勉強した、発達心理学のおもしろさにどっぷりはまった会社員生活でした。これからよろしくおねがいします！

出身：埼玉県
得意科目：生物
(大学院時代の専門は光合成)
趣味：旅行、山歩き、ヨガ



テスト勉強を支援するスマートアプリ「PLANUS」試験導入開始！

11月末から始まる2学期末試験に向け、学習センターではスマートフォン上で生徒同士がテスト勉強を支援し合うアプリ「PLANUS(プランナス)」を試験的に導入します。アプリの開発者は東京大学大学院修士2年の青木智寛さん。青木さんは同大学院において学力の高い人に特徴的な学習スタイルについての調査研究をまとめた「自己調整学習」の理論を学び、その中でも学習の「先延ばし」をどう防ぐかをテーマに研究をされています。

2学期末試験の3週間前から「PLANUS」の利用を始め、スマートフォン上で2~3人のグループをつくり、テスト勉強の計画を立てます。学習の記録を残すだけでなく、生徒同士で計画や勉強の進め方についてコメントしあい、より精度の高い計画立案や勉強の「先延ばし」防止といった効果を狙います。試験期間中は学習目的以外でのスマートフォン利用は控えるよう生徒に伝えていきますが、ご家庭におかれましてもご理解・ご協力の程宜しくお願いたします。



※画像は開発中のものです

(文責:秋元)

自習利用変更のお知らせ

場所：学習センター本館
時間：放課後から22時まで
(土曜は16時から)

月	火	水	木	金	土
◎	◎	○	◎	○	○

◎は常駐スタッフあり

平常期間中の自習について、月曜から土曜まで毎日利用ができるようになりました！場所は学習センターの本館です。家では集中できない、勉強をする環境が整っていないなど、自宅学習が難しい生徒はどうぞご利用ください。

(文責:永田)